

みて、かんじて、
そして かんがえよう

- 主催：(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
- 共催：大分合同新聞社、TOSテレビ大分
- 後援：大分県、大分県教育委員会、NPO法人大分県芸術振興、西日本新聞社、朝日新聞大分総局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム、NOAS FM、ナショナル ジオグラフィック日本版、大分経済新聞
- 企画協力：クレヴィス、養老研究所、写真編集研究所
- 特別協力：大分昆虫同好会、株式会社ミマキエンジニアリング、フマキラー株式会社、株式会社メディア・インテグレーション、芝浦工業大学
- 制作協力：安田寿之(楽曲制作・音響デザイン)、株式会社ランハンシャ(映像プロジェクト)、足立真穂(編集)、清水 健(撮影)、ファブラボ大分(保守)
- 展示構成・演出・アートディレクション：宮坂 淳

観 一般 1,200円(1,000円)
 覧 大学・高校生 1,000円(800円)
 料 中学生以下 無料

※()内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金

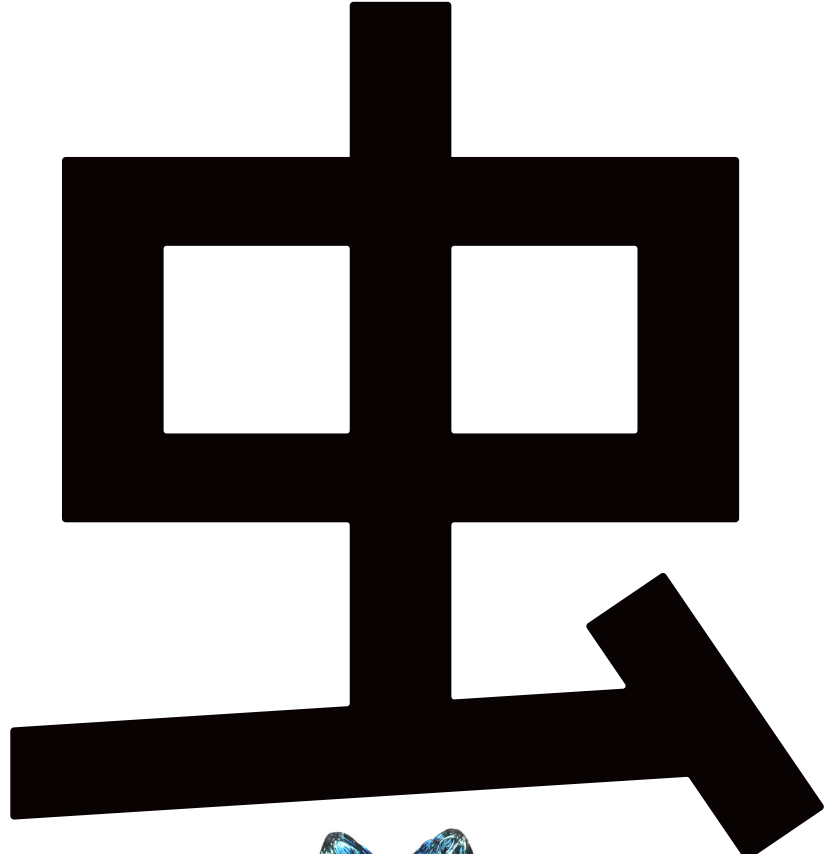
会 大分県立美術館1階
場 展示室A

2024/7/13(土)

→8/25(日) 10:00→19:00

(入場は閉館の30分前まで)※金・土曜日は20時まで閉館

OPAM
Oita Prefectural Art Museum



小
檜
山
賢
二



養
老
孟
司
と



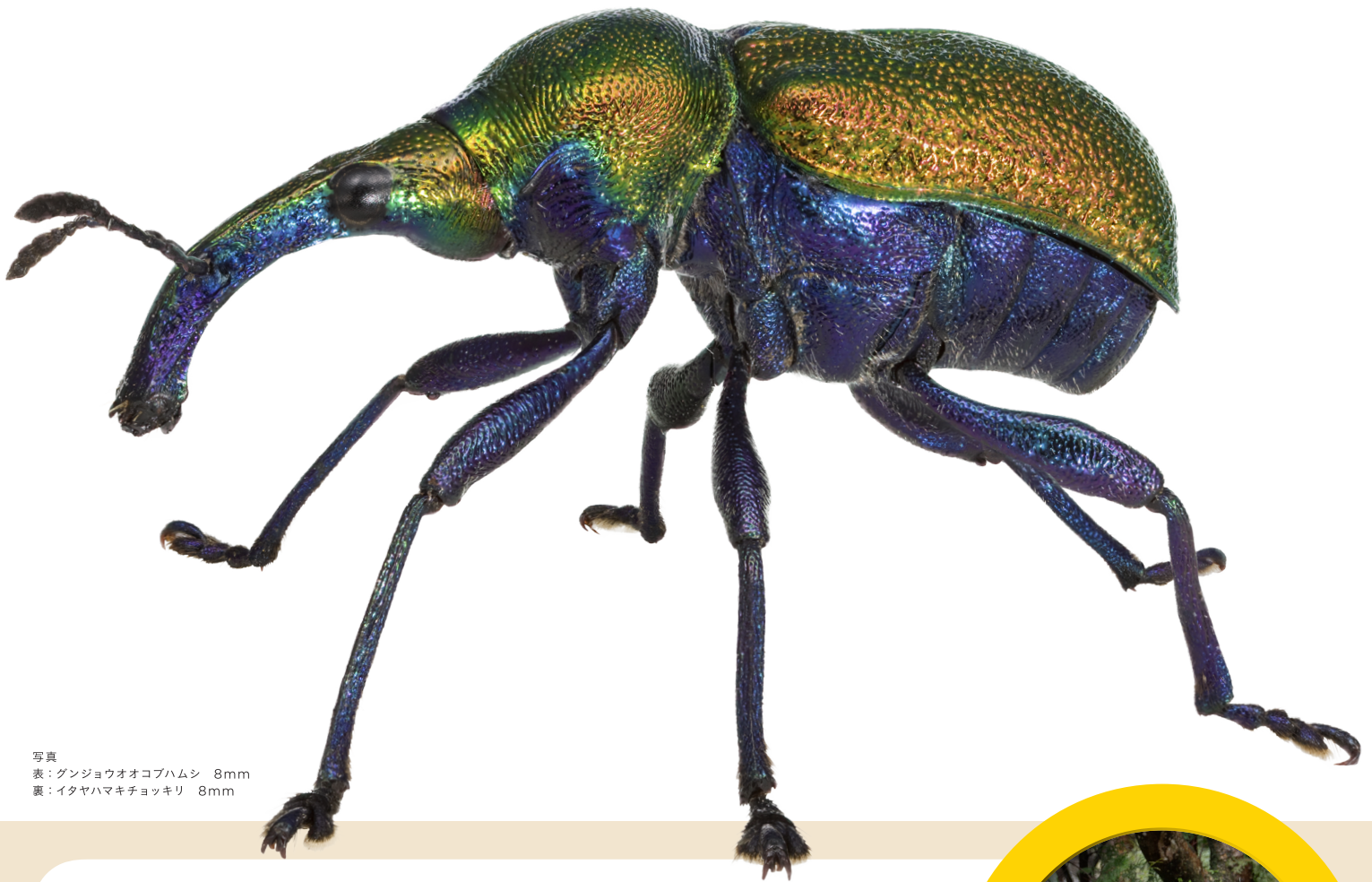


写真
表：グンジョウオオコブハムシ 8mm
裏：イタヤハマキチョッキリ 8mm

解剖学者で無類の昆虫愛好家、昆虫学者としても知られる養老孟司。
対象物のすべてにピントがあう深度合成技法を駆使し、
昆虫写真の新たな可能性を切り拓いた小檜山賢二。
二人は七十年以上楽しく虫を観察してきました。
本展は、養老先生の言葉と小檜山先生の写真を通して、
驚きと不思議に満ちた「虫」の世界をご紹介します。
展示室では、研究室での養老さんの様子やカブトムシやゾウムシ、
トビケラの巣などの微細な構造をデジタル技術で拡大し、
見たこともない造形を鑑賞していただけます。標本とあわせてお楽しみください。



大分の昆虫コーナーにも注目！大分にはどんな虫がいるかな？

虫 関連 イベント 展

受付開始
6/20

- ① 小檜山賢二先生 講演会「デジタルで虫と遊ぶ」 日時：2024年7月13日(土)14:00→15:30
講師：小檜山賢二氏 会場：大分県立美術館 2階 研修室 定員：80名 (要事前申込、要展覧会観覧券)
- ② 養老孟司先生×小檜山賢二先生 対談「虫と遊ぼう」 日時：2024年7月20日(土)14:00→15:30
講師：養老孟司氏、小檜山賢二氏 会場：大分県立美術館 3階 展示室B 定員：150名 (要事前申込、要展覧会観覧券)
- ③ 講演会「大分の昆虫と自然」 日時：2024年8月3日(土)14:00→15:30
講師：三宅 武氏(大分昆虫同好会名誉会員) 会場：大分県立美術館 2階 研修室 定員：80名 (要事前申込、要展覧会観覧券)

各イベントのお申込開始は6月20日(木)10:00～ 当館ホームページの申込みフォームから受け付けます。(先着順、定員に達し次第締切)

【チケット情報】※大分県芸術文化友の会びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者1名は無料※学生の方は入場の際、学生証を提示 ※本展会期中に限り、本展の半券提示でコレクション展を1回無料でご覧いただけます。

【チケット(前売券・当日券)販売場所】大分県立美術館、iichiko総合文化センター 1F インフォメーション、大分合同新聞社本社・プレスセンター、トキハ会館 3F プレイガイド、エトウ南海堂、NPO法人大分県芸術、大分県職員消費生活協同組合、チケットぴあ(セブンイレブン各店)(Pコード:994-534)ローソンチケット(ローソン各店)(Lコード:81543)



大分県企業局

10PAM
10th Anniversary

2025年4月に10周年を迎えます



〒870-0036 大分市寿町2番1号
TEL:097-533-4500
FAX:097-533-4567
JR大分駅府内中央口(北口)から
徒歩15分 / 大分ICから車で10分
<https://www.opam.jp>

←イベント申込はこちら